

### 第3学年国語科学習指導案

日 時：令和5年6月21日（水）

第5校時（13：20～14：05）

児 童：杉並区立富士見丘小学校

第○学年○組○○名

授 業 者：○○○○

1 単元名 「登場人物のへんかに気を付けて読み、感想を書こう。」

教材名 「まいごのかぎ」（光村図書3年上）

#### 2 単元の目標と評価規準

◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。（知（1）オ）

◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付け具体的に想像することができる。（思C（1）エ）

○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。（思C（1）オ）

○登場人物の気持ちの変化について読み取ったことを基にすすんで感想を書こうとする。

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
①様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。（（1）オ）	①「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付け具体的に想像している。（C（1）エ） ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。（C（1）オ）	①登場人物の気持ちの変化について読み取ったことを基にすすんで感想を書こうとしている。

#### 3 中学年のキャリア教育目標

- ・相手の考えや思いを理解する・・・「相手の伝えたいことが何かを考えながら聞く」
- ・自分のよさや課題に気付く・・・「自分のよさや課題に気付き、表現する」
- ・やりとげる・・・「今までの経験を生かして、自分で課題に取り組む」

#### 4 単元について

本単元では、登場人物の行動や会話、気持ちを表す叙述に着目して、場面同士を比較したり複数の叙述を関係付けたりしながら読み進める活動を通して、登場人物の気持ちや性格を表す語句についての理解を深めようとするものである。また、登場人物の気持ちや性格について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像しながら読む能力や、物語の出来事や登場人物についての感想を伝え合おうとする態度を身に付けさせたいと考え、「登場人物のへんかに気をつけて読み、感想を書こう。」と設

定した。

教材「まいごのかぎ」は、主人公であるりいこが、繰り返される不思議な出来事を通して自身を肯定的に捉えられるようになる姿を描いた物語であり、他者との関係の中で自分自身について見つめ始めるこの時期の児童に適した教材である。また、物語の組み立てが起承転結で構成されており、りいこの気持ちの変化や性格について、場面と場面を比較したり複数の叙述を関係付けたりしながら読む能力を高めることができる教材である。

そこで、本単元では、りいこの気持ちの変化や性格を捉えさせるために不思議な出来事が起こったときのりいこの行動や会話、気持ちが表れている叙述に着目させながら読み進めていく。気持ちが読み取れる文や言葉にサイドラインを引いたところをペアで交流し、そこから読み取れる気持ちや理由を伝え合うことで、新たな気付きや視点の広がりも期待できると考えた。

また、初発の感想と学習後の感想を比べることで、自分の考えや思いの変化に気付ける時間も取り入れる。

## 5 単元の目標にせまるための手立て

### ①大切な語句の共有

情景や心情を読み取る上で確実に押さえない言葉を教師がしっかりと選び、適切なタイミングで確認したり辞書引きしたりする。言葉の意味を掲示していつでも確認できるようにする。

### ②サイドラインを基にしたペア交流の設定

気持ちが読み取れる文にサイドラインを引いてペアで交流することで、相手がどこを選んだのが、そこからどんなことを想像したのか、自分の考えと比べながら聞くことができると考えた。また、相手が伝えようとしていることは何なのか気持ちを傾けて聞くことは、人間関係を作る大切な基盤となると考えた。【キャリア（人間関係形成・社会形成能力）】

### ③ワークシートの工夫

場面ごとに「りいこ」の気持ちを書き込むワークシートを1枚で見渡せるようにすることで、視覚的にも「りいこ」の変化を捉えやすくする。

### ④学習課題の作成

・初発の感想をもとに児童と共に学習課題を作ることで、興味関心とモチベーションを高められるようにする。

## 6 学習指導計画（全7時間 本時5／7時間目）

次	時	学習活動	・留意点 ○評価
1	1	○範読を聞き、感想を伝え合う。初発の感想を書く。 ○場面設定を確認し、大体的内容を捉える。	・感想を書くときの視点（「不思議に思ったこと」、「みんなで考えたいこと」、「面白いと思ったこと」）を示す。 ・児童と一緒に学習の計画や進め方を考え、学習に見通しがもてるようにする。
	2	○初発の感想を読み合い、学習課題と学習計画を立てる。	○文章を読んで理解したことに基づいて、初発の感想を持っている。【思②】
2	3	○学校からの帰り道の場面（第1場面）でのりいこの気持ちを読み取る。	・登場人物の気持ちがわかる言動にサイドラインを引くように指示する。 ・場面同士を比べ、登場人物の気持ちの変化に目が向くようにする。
	4	○桜の木からどんぐりが落ちてきた場面（第2場面）と公園のベンチが動き出した場面（第3場面）でのりいこの気持ちを読み取る。	・読み取ったことを基に、りいこの言葉でりいこの思いをまとめる。 ・話合いの中で解決できそうな学習課題については適宜話し合っ解決する。
	5 （本時）	○あじの開きが飛ぶ場面（第4場面）でのりいこの気持ちを読み取る。	○様子や行動、気持ちなどを表す語句に着目し、語彙を増やしている。【知①】 ○登場人物の気持ちや性格、気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。【思①】
	6	○りいこがうさぎと再会する場面（第5場面）でのりいこの気持ちを読み取る。 ○りいこの気持ちの変化を読み取る。	
3	7	○初発の感想や第2次で書いたワークシートを振り返りながら、読み取ったことを基に感じたことや考えたことを文章にまとめる。	・感想の書き出しの文型を提示し、自分と比べて書けるようにする。 ○文章を読んで理解したことに基づいて感想をもち、工夫して書いている。【思②】

## 7 本時の学習（5／7）

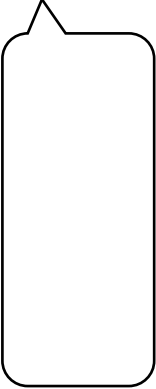
### （1）目標

- ・りいこの気持ちの変化を場面の移り変わりと結び付けて想像し、書くことができる。

### （2）展開

時	学習活動	・留意点 ○評価
導入	1 前時までを振り返り、本時のめあてを知る。	・第1～3場面までは、りいこが落ち込んでいたことを簡潔に押さえる。
	第4場面のりいこの気持ちを読み取ろう。	
展開	2 第4場面の教師の範読を聞き、りいこの気持ちや様子が分かる表現にサイドラインを引く。  3 サイドラインを引いた言葉について、ペアで伝え合う。相 ・どんなことを伝え合ったか数名発表する。  4 読み取ったことを基に、「○○なりいこ」という形で書き、発表する。  5 本時の学習を基に、りいこの考えや気持ちを想像して書く。 ・数名発表する。	・りいこの言動や気持ちや様子が分かる言葉を探しながら聞くよう指示する。  ・分からない言葉は辞書引きさせる。 ・「あっけにとられて」「悲しくなりました」の表現は必ず取り上げる。 ・りいこが落ち込んだ気持ちであることが捉えられるように、マイナスな気持ちを青で囲む。  ○りいこの気持ちの変化を場面の移り変わりと結び付けて想像し、書いている。【思①】（ペアでの伝え合い、発言、ワークシート）
まとめ	6 次時の見通しをもつ。	・次時は第5場面のりいこの気持ちを読み取る、ということを伝える。

## 8 板書計画

電子黒板	挿絵
	
<ul style="list-style-type: none"><li>・こまっっている</li><li>・わくわく</li><li>・うれしい</li><li>・がっかり</li><li>・おちこんでいる</li><li>・たのしい</li></ul> <p>「第四場面のりいこ」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・楽しくてよかったと思うりいこ</li></ul>	
<p>㊦ 第四場面のりいこの気持ちを読み取ろう。</p>	
<p>学習課題の短冊</p>	
<p>まいごのかぎ</p>	